

飛鳥 高等学校 令和6年度（1年次用） 教科 芸術 科目 音楽I

教科：芸術

科目：音楽I

単位数：2 単位

対象学年組：第1年次 1組～6組

使用教科書：（MOUSA 1

）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情懷を培う。

科目 音楽I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯学習としての器楽の基礎を身に付ける。 未経験の楽器の奏法の基礎を学ぶ。	さまざまな背景について考え鑑賞する。 音楽的表現を考え表現する。	こつこつと努力する姿勢 他者と協力するアンサンブル 探求心 これらを育成する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			歌	器	創							
1 学 期	生涯学習の基礎としての器楽を身に付ける。 基礎的な奏法を身につける。 弦番号と指番号付きの楽譜を見ながら、各自で楽曲を練習できるようにする。	ヴァイオリンの一斉授業 楽器の取扱 構え 弓の持ち方 デタシェ 1stポジション 蛙の歌 キラキラ星 カントリーロード アメイジング・グレイス ユーデルワイス 等		○			1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度	○	○	○	6	
	生涯学習の基礎としての器楽を身に付ける。 基礎的な奏法を身につける。 弦番号と指番号付きの楽譜を見ながら、各自で楽曲を練習できるようにする。	生徒の状況によりクラシックギター等の一斉授業を加える 楽器の取扱 構え 調弦 カルカッション アルアイレ アルペジオ 1stポジション オリジナル練習曲1等		○			1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度	○	○	○	6	
	歌の鑑賞 基礎的歌唱法 ※感染症対策のため当分の間歌唱は行わない	ジャンルのちがいによる様々な声等の鑑賞1を行う。スタイルによちかにかに声が違うかを学ぶ。 校歌等を歌唱する。 基礎的歌唱法を学ぶ。		○		○	1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度	○	○	○	6	
	卒業後もふたたび手にしようと思える楽器について、特に独習が困難なものを学習する。	ヴァイオリンの一斉授業 スラー 3rdポジション マルテレ スタックカート 威風堂々第1番 木星 ものけ姫 等		○			1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度	○	○	○	6	
2 学 期	器楽アンサンブル（独奏を含む）の練習と発表を通じて各楽器の基礎的技術および合奏力の向上をはかる。 器楽独奏の基礎を学ぶ。	弦楽合奏 ヴァイオリン チェロ ヴィオラ コントラバスによる合奏 生徒の状況によりクラシックギター等の一斉授業を加える アポヤンド セーハ オリジナル練習曲2等		○			1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度	○	○	○	15	
	箏の基礎的奏法を身につける。 世界史・日本史・各宗教・他の芸術等との関連・美学的なものの方を理解し考えながら鑑賞する。	箏の基礎的奏法 さくら 三段の調べ 六段の調べ（初段） 尺八古典本曲「本調べ」等の鑑賞		○		○	1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度	○	○	○	15	
3 学 期	基礎的な奏法の定着を図る。 ミュージカル、オペラ等の鑑賞を行い、西洋的な表現方法を味わい、学ぶ。	ヴィブラート マルテラート 星に願いを 虹の彼方に 等 生徒の状況によりクラシックギター等の一斉授業を加える オリジナル練習曲3等 トスカの相關図 指示動機を学び鑑賞する		○		○	1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度	○	○	○	8	
	即興演奏の基礎を学び、実習する	手足によるリズム即興 Fのブルースの構造について ブルーノート・スケールについて アヴォイド・ノートについて その1 ヴィブラフォンによる即興演奏の実習1		○	○	○	1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度	○	○	○	8	
											合計	70

飛鳥 高等学校 令和6年度(2,3年次用) 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教科: 芸術 科目: 音楽Ⅱ 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 23 年次 組~ 組

使用教科書: (MOUSA 2)

教科 芸術 の目標:

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯学習としての器楽の基礎をさらに身に付ける。 未経験の楽器の奏法の基礎をさらに学ぶ。	さまざまな背景についてさらに考え鑑賞する。 音楽的表現をより考え表現する。	こつこつと努力する姿勢 他者と協力するアンサンブル 探求心 これらを育成する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 基礎的な奏法を身につける。 弦番号と指番号付きの楽譜を見ながら、各自で楽曲を練習できるようにする。	弦楽合奏 ヴァイオリン チェロ ヴィオラ コントラバスによる合奏 戦場のメリークリスマス ほか 生徒の状況によりクラシックギター等の一斉授業を加える オリジナル練習曲 4 等		○			1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度	○	○	○	6
	生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 基礎的な奏法を身につける。 弦番号と指番号付きの楽譜を見ながら、各自で楽曲を練習できるようにする。	弦楽合奏 ヴァイオリン チェロ ヴィオラ コントラバスによる合奏 戦場のメリークリスマス ほか 生徒の状況によりクラシックギター等の一斉授業を加える オリジナル練習曲 5 等		○			1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度	○	○	○	6
	歌の鑑賞 基礎的歌唱法 ※感染症対策のため当分の間歌唱は行わない	ジャンルのちがいによる様々な声等の鑑賞2を行う。スタイルによちいかに声が違うかを学ぶ。 校歌等を歌唱する。 進んだ歌唱法を学ぶ。		○		○	1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度	○	○	○	6
	卒業後もふたたび手にしようと思える楽器について、特に独習が困難なものを学習する。	弦楽合奏 ヴァイオリン チェロ ヴィオラ コントラバスによる合奏 人生のメリーゴーランド ほか 生徒の状況によりクラシックギター等の一斉授業を加える オリジナル練習曲 6 等		○			1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度	○	○	○	6
2 学 期	器楽アンサンブル(独奏を含む)の練習と発表を通じて各楽器の基礎的技術および合奏力の向上をはかる。 器楽独奏の基礎を学ぶ。	弦楽合奏 ヴァイオリン チェロ ヴィオラ コントラバスによる合奏 パイレーツオブカリビアン ほか 生徒の状況によりクラシックギター等の一斉授業を加える オリジナル練習曲 7 等		○			1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度	○	○	○	15
	箏の基礎的奏法を身につける。 世界史・日本史・各宗教・他の芸術等との関連・美学的なものを見方を理解し考えながら鑑賞する。	箏の基礎的奏法 さくら 三段の調べ 六段の調べ(二段) 尺八古典本曲等の鑑賞		○		○	1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度	○	○	○	15
3 学 期	基礎的な奏法の定着を図る。 ミュージカル、オペラ等の鑑賞を行い、西洋的な表現方法を味わい、学ぶ。	弦楽合奏 ヴァイオリン チェロ ヴィオラ コントラバスによる合奏 パイレーツオブカリビアン ほか 生徒の状況によりクラシックギター等の一斉授業を加える オリジナル練習曲 8 等		○		○	1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度	○	○	○	8
	即興演奏の基礎を学び、実習する	手足によるリズム即興 Fのブルースの構造について ブルーノート・スケールについて アヴォイド・ノートについて その2 ヴィブラフォンによる即興演奏の実習2		○	○	○	1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度	○	○	○	8
											合計
											70

飛鳥 高等学校 令和6年度（3年次用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅲ

教科：芸術

科目：音楽Ⅲ

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ Joy of Music ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅲ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯学習としての器楽の基礎をさらに身につける。 未経験の楽器の奏法の基礎をさらに学ぶ。	さまざまな背景についてさらに考え演奏する。 音楽的表現をより考え表現する。	こつこつと努力する姿勢 他者と協力するアンサンブル 探求心 これらを育成する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			歌	器	創						鑑賞
1 学 期	生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 進んだ奏法を身につける。音楽IIまでに習わなかったボーイング・シフティングの多様な技術を身に付ける	弦楽合奏 ヴァイオリン チェロ ヴィオラ コントラバスによる合奏 木星 オリジナルスコア ほか 正しいデタシェ レガート 3rdポジションへの上		○						6	
	生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 進んだ奏法を身につける。音楽IIまでに習わなかったボーイング・シフティングの多様な技術を身に付ける	弦楽合奏 ヴァイオリン チェロ ヴィオラ コントラバスによる合奏 木星 オリジナルスコア ほか 正しいスラー 3rdポジションへの上		○						6	
	生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 進んだ奏法を身につける。音楽IIまでに習わなかったボーイング・シフティングの多様な技術を身に付ける	弦楽合奏 ヴァイオリン チェロ ヴィオラ コントラバスによる合奏 木星 オリジナルスコア ほか 正しいコーレ 5thポジションへの上		○						6	
	生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 進んだ奏法を身につける。音楽IIまでに習わなかったボーイング・シフティングの多様な技術を身に付ける 実技テスト	弦楽合奏 ヴァイオリン チェロ ヴィオラ コントラバスによる合奏 木星 オリジナルスコア ほか 正しい投げ弓 5thポジションへの上		○						6	
2 学 期	生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 進んだ奏法を身につける。音楽IIまでに習わなかったボーイング・シフティングの多様な技術を身に付ける	弦楽合奏 ヴァイオリン チェロ ヴィオラ コントラバスによる合奏 木星 オリジナルスコア ほか 正しいポルタート 7thポジションへの上		○						15	
	生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 進んだ奏法を身につける。音楽IIまでに習わなかったボーイング・シフティングの多様な技術を身に付ける 実技テスト	弦楽合奏 ヴァイオリン チェロ ヴィオラ コントラバスによる合奏 木星 オリジナルスコア ほか 正しいスピッカート 7thポジションへの上		○						15	
3 学 期	生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 進んだ奏法を身につける。音楽IIまでに習わなかったボーイング・シフティングの多様な技術を身に付ける 実技テスト	弦楽合奏 ヴァイオリン チェロ ヴィオラ コントラバスによる合奏 木星 オリジナルスコア ほか 正しいワンボウスタッカート 9thポジションへの上		○						8	
	まとめ	これまで学んだ楽曲や奏法の総ざらい		○						8	
										合計	70

飛鳥 高等学校 令和6年度（3年次用） 教科 芸術 科目 演奏

教科： 芸術 科目： 演奏 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： ()

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 演奏 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯学習としての器楽の基礎を身に付ける。 未経験の楽器の奏法の基礎をさらに学ぶ。	さまざまな背景についてさらに考え演奏する。 音楽的表現をより考え表現する。	こつこつと努力する姿勢 他者と協力するアンサンブル 探求心 これらを育成する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			歌	器	創						鑑 賞
1 学 期	生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 基礎的な奏法、進んだ奏法を身につける。各自選択した楽器の基礎、独奏または合奏の練習をおこなう	クラシックギター、フォークギター、キーボード、フルート、ピアノから選択し、各自基礎的または進んだ奏法の練習を行う。楽曲を選定する。独奏またはアンサンブルの練習を行う。		○				○	○	○	6
	生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 基礎的な奏法、進んだ奏法を身につける。各自選択した楽器の基礎、独奏または合奏の練習をおこなう	クラシックギター、フォークギター、キーボード、フルート、ピアノから選択し、各自基礎的または進んだ奏法の練習を行う。楽曲を選定する。独奏またはアンサンブルの練習を行う。		○				○	○	○	6
	生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 基礎的な奏法、進んだ奏法を身につける。各自選択した楽器の基礎、独奏または合奏の練習をおこなう	クラシックギター、フォークギター、キーボード、フルート、ピアノから選択し、各自基礎的または進んだ奏法の練習を行う。楽曲選定した楽曲について独奏またはアンサンブルの練習を行う。		○				○	○	○	6
	生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 基礎的な奏法、進んだ奏法を身につける。各自選択した楽器の基礎、独奏または合奏の練習をおこなう	クラシックギター、フォークギター、キーボード、フルート、ピアノから選択し、各自基礎的または進んだ奏法の練習を行う。楽曲選定した楽曲について独奏またはアンサンブルの練習を行う。実技テスト兼演奏会		○				○	○	○	6
2 学 期	生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 進んだ奏法、さらに進んだ奏法を身につける。各自選択した楽器の基礎、独奏または合奏の練習をおこなう	クラシックギター、フォークギター、キーボード、フルート、ピアノから選択し、各自進んだ奏法またはさらに進んだ奏法の練習を行う。楽曲を選定する。独奏またはアンサンブルの練習を行う。		○				○	○	○	15
	生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 基礎的な奏法、進んだ奏法を身につける。各自選択した楽器の基礎、独奏または合奏の練習をおこなう	クラシックギター、フォークギター、キーボード、フルート、ピアノから選択し、各自基礎的または進んだ奏法の練習を行う。楽曲選定した楽曲について独奏またはアンサンブルの練習を行う。実技テスト兼演奏会		○				○	○	○	15
3 学 期	生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 基礎的な奏法、進んだ奏法を身につける。各自選択した楽器の基礎、独奏または合奏の練習をおこなう	クラシックギター、フォークギター、キーボード、フルート、ピアノから選択し、各自進んだ奏法またはさらに進んだ奏法の練習を行う。楽曲を選定する。独奏またはアンサンブルの練習を行う。		○				○	○	○	8
	まとめ	これまで学んだ楽曲や奏法の総ざらい		○				○	○	○	8
										合計	70

飛鳥 高等学校 令和6年度（3年次用） 教科 芸術 科目 保育系ピアノ

教科： 芸術 科目： 保育系ピアノ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： ()

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 保育系ピアノ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育系へ進学するための基礎的なピアノ奏法を身に付ける。また生涯学習としての器楽の基礎を身に付ける。 未経験の楽器の奏法の基礎をさらに学ぶ。	さまざまな背景について考え演奏する。 音楽的表現をより考え表現する。	こつこつと努力する姿勢 探求心 これらを育成する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			歌	器	創						
1 学 期	保育系大学等進学者、保育士・幼稚園教諭志望者に対して、基礎的なピアノの実技を中心に指導する。生涯学習の基礎として、ピアノの基礎的奏法を身に付ける	オリエンテーション 志望校・ピアノの経験等アンケートの実施 座り方、手の形、姿勢、指の番号 楽譜の読み方 練習方法、音楽的表現方法		○		1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容およびレッスン内容の理解度	○	○	○	6	
	保育系大学等進学者、保育士・幼稚園教諭志望者に対して、基礎的なピアノの実技を中心に指導する。生涯学習の基礎として、ピアノの基礎的奏法を身に付ける	個人レッスンおよび個人練習 ツェルニー・ブルクミュラー・ソナチネ、スタジोजプリ、ディズニの曲等各自のレベルに応じ 選曲。座り方、手の形、姿勢、指の番号 楽譜の読み方 練習方法、音楽的表現方法		○		1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容およびレッスン内容の理解度	○	○	○	6	
	保育系大学等進学者、保育士・幼稚園教諭志望者に対して、基礎的なピアノの実技を中心に指導する。生涯学習の基礎として、ピアノの基礎的奏法を身に付ける	個人レッスンおよび個人練習 ツェルニー・ブルクミュラー・ソナチネ、スタジोजプリ、ディズニの曲等各自のレベルに応じ 選曲。座り方、手の形、姿勢、指の番号 楽譜の読み方 練習方法、音楽的表現方法		○		1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容およびレッスン内容の理解度	○	○	○	6	
	保育系大学等進学者、保育士・幼稚園教諭志望者に対して、基礎的なピアノの実技を中心に指導する。生涯学習の基礎として、ピアノの基礎的奏法を身に付ける 実技テスト	個人レッスンおよび個人練習 ツェルニー・ブルクミュラー・ソナチネ、スタジोजプリ、ディズニの曲等各自のレベルに応じ 選曲。座り方、手の形、姿勢、指の番号 楽譜の読み方 練習方法、音楽的表現方法		○		1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容およびレッスン内容の理解度	○	○	○	6	
2 学 期	保育系大学等進学者、保育士・幼稚園教諭志望者に対して、基礎的なピアノの実技を中心に指導する。生涯学習の基礎として、ピアノの基礎的奏法を身に付ける	個人レッスンおよび個人練習 ツェルニー・ブルクミュラー・ソナチネ、スタジोजプリ、ディズニの曲等各自のレベルに応じ 選曲。座り方、手の形、姿勢、指の番号 楽譜の読み方 練習方法、音楽的表現方法		○		1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容およびレッスン内容の理解度	○	○	○	15	
	保育系大学等進学者、保育士・幼稚園教諭志望者に対して、基礎的なピアノの実技を中心に指導する。生涯学習の基礎として、ピアノの基礎的奏法を身に付ける 実技テスト	個人レッスンおよび個人練習 ツェルニー・ブルクミュラー・ソナチネ、スタジोजプリ、ディズニの曲等各自のレベルに応じ 選曲。座り方、手の形、姿勢、指の番号 楽譜の読み方 練習方法、音楽的表現方法		○		1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容およびレッスン内容の理解度	○	○	○	15	
3 学 期	保育系大学等進学者、保育士・幼稚園教諭志望者に対して、基礎的なピアノの実技を中心に指導する。生涯学習の基礎として、ピアノの基礎的奏法を身に付ける	個人レッスンおよび個人練習 ツェルニー・ブルクミュラー・ソナチネ、スタジोजプリ、ディズニの曲等各自のレベルに応じ 選曲。座り方、手の形、姿勢、指の番号 楽譜の読み方 練習方法、音楽的表現方法		○		1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容およびレッスン内容の理解度	○	○	○	8	
	まとめ	これまで学んだ楽曲や奏法の総ざらい		○		1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容およびレッスン内容の理解度	○	○	○	8	
										合計	70

飛鳥 高等学校 令和6年度(2,3年次用) 教科 日本の伝統文化 科目 箏

教科: 日本の伝統文化 科目: 箏 単位数: 2 単位

対象学年組: 第2,3年次 1組~ 6組

使用教科書: ()

教科 日本の伝統文化 の目標:

【知識及び技能】日本の伝統文化に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】日本の伝統文化のよさや美しさを理解して深く味わい、表現し伝達することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり日本の伝統文化を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 箏 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の伝統文化である箏の歴史・楽曲について理解を深める。 箏の基礎手づな奏法について知り、技術を身に付ける	奏法と音色との関係、楽曲や部分部分に求められる音色、日本の伝統的な音楽表現について考え、表現する	こつこつと基礎的奏法を練習する 他者と協力して演奏する協調性を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現		鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
			身	社						
1 学期	箏の歴史について 楽器の名称や取り扱い方 調絃法 姿勢、構え 親指の弾き方 中指、人差し指の弾き方 右手箏爪の奏法	箏を通して、邦楽、及び日本の 伝統文化全般に対する興味・関心 を深める。 さくら ずいずいづっころばし お江戸日本橋 かごめかごめ 等 オリジナル編曲による	○	○	○	1 レッスンへの集中度 2 授業態度 3 毎回の実技の達成度 4 出席状況	○	○	○	10
	左手の奏法(押し手) 楽譜の読み方(生田流) 基礎練習曲(「さくら」等) 初級曲(独奏)の練習 二重奏の練習 発表曲の合奏練習	邦楽特有の精神性をも含めて、 箏の演奏、合奏を学び伝統芸術へ の理解を深める。 茶摘み うさぎうさぎ 鞠と殿様 中国地方の子守唄 五木の子守唄 ほたるこい 等	○	○	○	1 レッスンへの集中度 2 授業態度 3 毎回の実技の達成度 4 出席状況	○	○	○	10
2 学期	かけ爪 かき爪 裏連 引き連 ゆり り色 引き色 平調子(老越) 乃木調子(老越) 平調子(神仙) 平調子(双調) 等 独奏 二重奏 三重奏 四重奏 中級曲の練習 発表曲の合奏練習 飛鳥祭等での発表	飛鳥高校用オリジナル編曲合奏 お江戸日本橋・ずいずいづっころ ばし・かごめかごめ オリジナル新曲「鬼火」「柳火」 (作曲:岡村繁)の合奏 現代邦楽やポップスではなく、で きるかぎり伝統曲、古典曲、童謡 等を扱う 三段の調べ 金欄 六段の調べ 初段 二段 三段 千鳥の曲(手事) 等	○	○	○	1 レッスンへの集中度 2 授業態度 3 毎回の実技の達成度 4 出席状況	○	○	○	28
3 学期	総合的な演奏法の確認・深化 オリジナル曲等、新しい曲に取り組 む	この授業のための書き下ろし新曲 飛鳥山春爛漫 飛鳥山盛夏 飛鳥山錦秋	○	○	○	1 レッスンへの集中度 2 授業態度 3 毎回の実技の達成度 4 出席状況	○	○	○	20
	オリジナル曲等、新しい曲に取り組 む	飛鳥山冬枯れ 飛鳥山春再帰 同・オリジナル編曲 砂山(中山晋平) さくらさくら二重奏	○	○	○	1 レッスンへの集中度 2 授業態度 3 毎回の実技の達成度 4 出席状況	○	○	○	2
										合計
										70